

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	がん患者における HLA 遺伝子の多様性に関する検討
	研究目的	最近、ヒト白血球抗原 (HLA) の型が各種疾患の発症・病状進行・治療反応性などに深く関与することが明らかとなりつつあります。本研究では、膵臓がんの患者さんの血液細胞から分離した DNA を用いて、HLA 遺伝子型を決定します。得られた結果から、膵臓がん患者に認められる HLA 遺伝子型の特徴を明らかとします。
	研究対象者	2009 年 10 月～2019 年 3 月までに「がん研究 (遺伝子解析を含む) への協力をお願い」で包括的に医学研究への試料提供に文書で同意した膵臓がんの患者さん (100 例)。なお、患者さんの血液細胞から既に分離され、保存されている DNA を用います。
	研究期間	西暦 2019 年 3 月 27 日～西暦 2021 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	笹田哲朗
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実 施診療科/部局等	臨床研究所、消化器外科、消化器内科
	共同研究の場合、共 同研究機関および 各施設での研究責 任者	なし